



今年度初めての「英会話教室」を実施！各クラス30分で、今年から年中組でも！


～自分から進んで前へ出て発表する子も！コミュニケーション能力の育成にも役立っています。～




5月9日(木)、本園の遊戯室において「英会話教室」を実施しました。昨年度までは、年長組が中心で、約1時間を通して実施していたのですが、「子どもたちの集中力が持たない」「小学校での英語教育が3年生から実施されるのを前に、幼稚園でも英語教育の充実を図る必要がある」等の意見が園内の先生方から出されました。そこで、今年度から週1回(木曜日)に、年中・年長組で30分間ずつ実施することにしました。




2020年に教育課程が大きく変わり、小学校での英語教育は当たり前になっています。それに合わせ、本園でも「子どもたちが集中して取り組める、そして小学校での英語教育につながるカリキュラムを実施している」英会話スクールで「教室」を実施することにしたのです。




子どもたちが遊戯室に入ると、そこには見慣れない外国人の男の先生と日本人の女の先生がいました。2人ともにこやかに子どもたちを出迎えてくれます。子どもたちが先生方の前に並び、いよいよ始まりです。まずは「自己紹介」です。「マイ ネイム イズ ジョー」と男の先生。次に、「マイ ネイム イズ アキコ」と女の先生。初めは怖がっていた子どもたち。でも、ジョー先生の大きな声、そして表情豊かでオーバーなアクションが子どもたちを引きつけます。またアキコ先生は、子どもたちの様子を見て「より分かりやすくするため」に、ジョー先生のフォローに入ります。元気いっぱいのジョー先生と、優しく教え上手のアキコ先生。呼吸もぴったりです。



初めに、「天気」を表す英語を学習しました。天気を表す絵と英単語が書かれているカードを使って、振りをつけながら繰り返し暗誦します。振りをつけるなど、五感をフルに使うことが学習においては大切であると言われています。次はゲームです。天気の絵が書いてある大きなサイコロをジョー先生が跳ね上げ、上に出た「天気を表すカード」と同じカードにタッチします。5人一組で行ったのですが、一番早く同じカードにたどり着こうと、非常に盛り上がりました。




次は、「色」を表す英語を学習しました。年長組の子は昨年度までの学習が生きているため、「レッド」「グリーン」などと、ジョー先生が出すカードの色を次々と英語で答えています。先生方もこれにはビックリした様子でした。「ブラックのカードが出たら座る」というゲームでも、「ワン モア タイム」と言って、何回もやりたがっていました。



最後は「体の部位」を表す英語を学びました。年長組の子は「ヘッド ショルダーズ……」で始まる歌を知っていたので、より早く歌おうと大いに盛り上がりました。この場面でもしっかりとゲームを行い、子どもたちを飽きさせない工夫がされていました(子どもたちにリングが手渡され、それを指定された体の部位に乗せ5秒間落ちないようにするゲーム)。

30分間だったので、子どもたちは飽きることなく元気いっぱい活動していました。また、代表者を選ぶ時など、前に出て発表したくて積極的に手を挙げる子も多く、英語の活動への意欲を感じました。

昔から、「習うより慣れよ」と言いますが、ネイティブに英語に興味を持つようになることが、将来学校に入った時に生きるのではないのでしょうか。



【写真】……今回は「さくら」組さんの写真が撮れませんでした。次回に期待を！
(一番上)ジョー先生とアキコ先生(2段目)天気を表す英語を振りをつけながら楽しく！
(3段目)サイコロと同じ天気を表す絵を見つけて、先生とタッチ！(4段目)「このカードだよね」と先生と確認しあいます。(5段目)この集中した真剣な眼差し！「高ノ台魂」が脈々と受け継がれています。(6段目)積極的に手を上げて答えようとする子どもたち。意欲的な姿勢の表れです。(一番下)「体の部位」を表す英語でのゲームの様子。リングを鼻の上に乗せ、5秒で合格！大盛り上がり！